

投票から開票 生徒が体験

福井市南江守町の至民中学校で二十二日、選挙制度の公開授業があり、三年生二十六人が、投票から開票までの流れを体験しながら学んだ。

公民の授業の一環で、県選挙管理委員会などが新たに作成した副読本「今から始める選挙の準備」を活用して実施。市選管が実際の選挙で使用する投票箱や投票記載台を用意し、具明るい選挙推進協議会のメンバーら七人が見学した。

生徒たちは副読本で選挙の仕組みを学んだ後、模擬投票所で「至

選挙権の行使予習

福井・至民中で公開授業



選挙の投票を体験する生徒たち＝福井市至民中学校で

民中学市長選挙」の投票を体験。受け付けで、開票しやすいように特

から選んだ名前を書き入れられた。国や福井の

代表の生徒二人が開票するようにした

受け取り、福井ゆかりの松平春嶽、橋本左内、を学習。県選管の担当

（平井一敏）

者が「将来、投票に行こうと思った人は」と尋ねると、十六人が手を挙げた。高溝巨貴君（こほり いくみ）は「選挙は難しい」と思っていたけれど、簡単に参加できることが分かった。

H24. 10. 23 中日



授業で選挙の投票を体験する生徒たち＝福井市至民中学校で

福井 至民中生が選挙制度学ぶ

福井市南江守町の至民中学校で22日、選挙制度の公開授業があり、3年生26人が、投票から開票までの流れを体験しながら学んだ。（平井一敏）

公民の授業の一環で、県選挙管理委員会などが新たに作成した副読本「今から始める選挙の準備」を活用して実施。市選管が実際の選挙で使用する投票箱や投票記載台を用意し、具明るい選挙推進協議会のメンバーら七人が見学した。

生徒たちは副読本で選挙の仕組みを学んだ後、模擬投票所で「至民中学市長選

本物使い 投票体験

「選挙は難しい」と思っていたけれど、簡単に参加できることが分かった。国や福井の代表の生徒二人が開票するようにした

受け取り、福井ゆかりの松平春嶽、橋本左内、由利公正の三候補の中から選んだ名前を書いて投票箱に入れた。

代表の生徒二人が開票作業も行い、当選者が決まるまでの手続きを学習。県選管の担当者が「将来、投票に行こうと思った人は」と尋ねると、十六人が手を挙げた。高溝巨貴君（こほり いくみ）は「選挙は難しい」と思っていたけれど、簡単に参加できることが分かった。国や福井の代表の生徒二人が開票するようにした

受け取り、福井ゆかりの松平春嶽、橋本左内、を学習。県選管の担当

（平井一敏）

将来の有権者に理解を

県選管と県明るい選挙推進協議会が作成した選挙啓発の副読本「今から始める選挙の準備」を使った公開授業が22日、福井市南江守町の市立至民中であつた。

将来の有権者の生徒たちに選挙の重要性を理解してもらうために、9000部作成し、9月末に県内の全中学3年生に配布した。分かりやすくするため、選挙権が拡大した歴史をイラスト付きで紹介したり、比例代表制の議席配分で用いる「ドント式」を実際に計算したりする欄を設けた。また、県議選の区割りや首長の任期、知事選

県選管などが作成

副読本活用 「公開授業」

福井の中学校で

での年代別投票率など使った模擬投票も身近な地元の情報も盛り込んで選挙の仕組みを解説した。公開授業は3年1組(生徒26人)で実施。副読本の活用だけでなく、実際の投票用紙と同一材質の投票用紙を

使った模擬投票も近い、選挙制度への理解を深めた。小沢里貴君(14)は「模擬投票はちょっと緊張した。選挙の雰囲気や投票に必要な情報が分かり勉強になった」と話していた。

【佐藤慶】



選挙啓発の副読本を活用した授業。福井市南江守町の市立至民中で